

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26			・広々とした明るいスペースがあって良い。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	6		・以前よりも、スタッフ間のコミュニケーションがうすい気がします。入れ替わりも多いので不安です。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	26			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25	1		・よくヒアリングしてくれる。 ・もう少し具体的な計画書をいただくと助かります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	24	1	1	・曜日で固定されているため他のプログラムが体験できないため
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	14	4	
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	2		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	1		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	26			
14 個人情報に十分注意しているか	26				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	5	1	・防犯、感染症について不足しているように思います。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	4		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	26			・気分による時もある。
	18 事業所の支援に満足しているか	26			

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	5		・広すぎる。間切りがない。 ・部屋の広さは十分だが、スペースの使い方を工夫する必要がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	6	3	・職員が一人休みになると残りの人が大変なので、もう一人常勤が増えたら良いのでは。 ・基準より多く配置していても、送迎で職員が出てしまうことで配置が厳しくなることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	3	2	・適宜気づきを話し合い、改善に努めている。 ・バリアフリー化はされているものの、子どもが利用する施設として安全の確保に工夫が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	6	1	・月一のミーティングや、日々の支援前の打ち合わせなどを行っており、非常勤職員も参加している。また施設全部署を交えた委員会等もあり、業務改善を進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	5		・毎年少しずつ、できる範囲で業務改善につなげていこうとしているが、日々の業務の兼ね合いの中で、満足いただけるほどの改善が行えてはいないかもしれない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	7	1	・ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	3	1	・保護者の皆様にもご協力いただき、今年度初めて第三者評価を受けることができた。客観的に事業所の現状を見てもらえることは大変ありがたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	3		・事業所内研修を年に2回行っており、虐待防止やケースの検討会、権利擁護勉強会などを行っている。外部研修ももっと活用できればと思う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	4		・アセスメントにおいて、もう少し客観的に現状を分析できるツールを活用できればと思う。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	6	3	・発達検査等のツールは運用可能な職員がいない。心理士の資格を持つ職員がいるので、その知識を活用しながら状況を分析している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	4	2	・常勤職員が中心となって、曜日ごとにプログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	4	1	・固定化しないよう色々アイデアを出し合っているが、そもそも今のプログラムの提供体制(曜日固定のプログラム)がどうなのかという気持ちもある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	3		・基本的には個別支援計画に則る形で、長期休暇だからできること、ということは大事にしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	6		・個別活動としてプログラムを組んでいるというよりは、子どもの興味に応じて遊びの中で個別に対応する、ということが多い。集団活動はもう少し幅を広げたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	1		・職員間で打ち合わせをしているが、その日のスケジュール的なことが中心となっており、もう少し子どもの支援ポイントに注視できたら、と思う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	5	・送迎の時間がバラバラだったり、帰りの時間がマチマチなので、メモを残すとか、気付いたことを書き留めて付箋を貼るノートを用意したらどうか。 ・なんとか日々の支援の振り返りを行ってほしいと思っているが、もっと情報を共有しなければいけないと考えている。記録の整備等で対応したい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2	3	・不十分である。記録を取らなければいけない書類が多すぎて、手が回っていない。まずは業務の効率化を図っていきたい。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	5		・会議の場などで、子どもの現況を聞き取り、計画の見直しを非常勤も含めてチームで行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	8	2	・創作活動や余暇活動(外出)等、基本的なところはサービス提供している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	5		・コロナ禍ということもあるかもしれないが、担当者会議自体の開催が少ない。会議に基本的には児発管が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	5		・保護者からの情報提供によることがメインとなっている。学校の連絡会等には必ず参加しており、今後も学校との連携を強めていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	7	2	・主治医の連絡先を聞いているが、基本的に医療面の情報は保護者からの情報提供による。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	7	3	・当事業所の児童発達支援を利用していた子がほとんどとなっている為、そこの情報共有は行っているが、卒園した保育所等との情報共有をしているケースは少ない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	4	3	・保護者からの要請があれば対応するが、積極的に情報提供を行えてはいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	4	2	・行政が主体となって研修を開催することがあるため、その研修に参加することはある。また、ケースによっては情報共有をさせてもらうことがある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	6	2	・地域の子供との交流は少ないので、近くの小中学校にボランティアとして募るのはどうか(長期休みに来てもらう) ・地域の児童館へ遊びに行くことがある。児童館の職員もとても理解があり、今後も交流を続けていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		9	3	・施設長のみ参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	3		・なるべく具体的に伝えている。 ・こちらでの活動の様子は伝えているが、保護者の方にはもっと伝えたいことがあるのではないか、と思うことがある。送迎のときに顔を合わせただけでは時間がないので、もし何かあればご連絡いただきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	8	2	・ペアトレについては行っていない。ペアトレを行ってきた経験のある職員がいないので、法人と相談して保護者会などで有意義な時間が提供できればと思う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	8		・契約時に説明を行っている。また、運営規程を変更する必要がある際(営業時間の変更等)は保護者会で報告している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	6		・保護者の方でもっとお話しする機会は必要だと感じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	7	1	・保護者会は年2回開催している。今年度はZoomによる開催にしたが、保護者同士の交流がしにくいという声を頂いている。より良い形に出来たらと思う。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	3	1	・苦情受付担当者は管理者、苦情解決責任者は施設長となっている。気になる事があれば、小さなことでも管理者にご連絡を頂ければと思う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	5	1	・今年度より、ここから全体として開放を発行している。載せる内容はその時々であり、活動概況や連絡体制等の情報を発信しているとは限らない。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	4		・個人情報の扱いについてはミーティングで度々話題に挙がっている。特に連絡先の入った携帯電話や、学校送迎時の名札などは厳重に取り扱うよう意識している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	4		・利用児童によっては、視覚支援の絵カード、コミュニケーションボード等を使用している。また、話しかける際にもどのような話しかけ方が良いのか、といった支援ポイントの共有をミーティングや個別支援計画作成の会議で行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	4	8		・例年ここからまつりでは地域住民を招待している。ここ数年は行事が行事を開催できていないため、あまり地域住民とのつながりが生まれていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	5	1	・緊急時対応マニュアル等一部マニュアルはあるが、防犯については存在しない。また感染症に対してはコロナウイルスとノロウイルスのみ対応が決まっている。個別の緊急時対応マニュアル以外は保護者には周知できていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	5		・年に2回、避難訓練と総合訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	6		・事業所内研修で、毎年虐待防止の研修を行っている。またこの研修は職員が交代で主催を担当するため、能動的に虐待防止に努める姿勢を養成している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	3	1	・身体拘束については、切迫性・非代替性・一時性を要件としている。児童における身体拘束について、公園で道路に飛びさないうちや服をつかんだり、走り回る子ども同士で衝突しないよう抑えたりといったことが考えられるが、そこまで個別支援計画には記載していない。本格的に身体拘束が必要となるようなケースは現在ない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	6		・医師からの指示書ではなく、医師の指示を受けて保護者から対応を指示して頂いている。また、アレルギー症状発生時の対応も保護者に同意をいただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	3	1	・ヒヤリハットを作成し、全部署共有している。また、委員会活動でヒヤリハットの内容やあり方を検討している。